

防災・減災対策の必要性を学べる『ポケドボ』カードゲームの多角的展開

パシフィックコンサルタンツ株式会社 正会員 ○光安 皓
 パシフィックコンサルタンツ株式会社 非会員 阿部 翔太
 株式会社キタック 非会員 小池 進太郎

1. はじめに

著者らが所属する土木学会企画委員会の若手パワーアップ小委員会では、2016年から土木分野における防災・減災の必要性を遊びながら学べるカードゲームの製作に取り組んでいる。

取り組みの背景として、当小委員会における活動の柱の1つである土木業界以外への土木の魅力のPRがある。少子高齢化等を背景として土木業界の担い手が減少していく一方で、近年急増する天災に対して土木が果たす役割はますます重要になっている。このことから、幼い頃から土木の大切さや防災対策の必要性について学べる機会を与えることで、まずは土木への興味の輪を広げることを目指し、カードゲームの製作を行い、2018年7月25日に土木学会から一般向けに『ポケドボ』カードゲームとして販売を開始している。[1]

本論文では発売後の横方向の展開および今後の展開について紹介することを目的とする。

2. 『ポケドボ』カードゲームの多角的展開

『ポケドボ』カードゲームの横方向の展開として、現在、主に以下4点を推進し、土木学会および土木業界内外の活性化に継続的に取り組んでいる。

- ・英語版『PokeDobo』カードゲームの製作と展開
 - ・ご当地版『ポケドボ』カードゲームへの展開
 - ・アプリ版『ポケドボ』の配信
 - ・他の土木系カードゲームとのコラボレーション
- 次項において順番に紹介する。

3. 英語版『PokeDobo』カードゲームの製作と展開

日本人に対し土木を題材にして英語を学んでもらうこと、留学生や海外の方々に対し日本発の『ポケドボ』カードゲームを遊んでもらうこと等を目的として、英語版カードゲームの製作を進めている。英語版カードゲームのデザイン案を以下に示す。基本的なデザイン・レイアウト等は日本語版と同様と考えているが、実際に試作品を英語圏の方々に遊んでもらいながら細かい点を詰める予定である。なお、反響次第では日本語版と同様、一般販売の可能性も検討する。



図1 英語版『PokeDobo』の試作イメージ

- ・ キーワード 土木教育, カードゲーム, 防災, 減災, 英語, ご当地, アプリ, 若手
- ・ 連絡先 〒101-8462 東京都千代田区神田錦町 3-22 パシフィックコンサルタンツ株式会社
- ・ E-Mail: shouta.abe@tk.pacific.co.jp TEL: 03-6777-4503

4. ご当地版『ポケドボ』カードゲームへの展開

『ポケドボ』カードゲームは一般的なインフラを対象としており、具体のインフラを指し示しているわけではないため、低学年の子どもたちにとってはインフラそのものや災害について想像し難いのではないかとの懸念があった。

そこで、小学校区単位等の生活圏内に存在するインフラを対象とし、地域にローカライズした名称・図柄とすることで、より想像し易く且つ身近に災害が発生する可能性も含めて学んでもらうことができるのではないかと考え、ご当地版『ポケドボ』カードゲーム用に汎用性のあるフォーマットを作成した。図2に示すのは、当学会国際センターとの連携によって新潟県長岡市の小学校で実施したワークショップにおいて作成したご当地版の『ポケドボ』カードゲームである。このように、地域の小学生でも認知している川やまちを描写することで、より理解度を深められるのではないかと考えている。

今後も土木学会内の委員会活動等を通して、他の地域での展開可能性等を検討する予定である。

5. アプリ版『ポケドボ』の配付

『ポケドボ』カードゲームの製作と並行し、1人でもどこでもプレイ可能なスマートフォンアプリ版『ポケドボ』の開発を行なった。2018年の全国大会や東京で開催した「プレイフルストリート」等のイベントにおいて既に出展実績があるが、2019年4月（予定）にAppleのApp Storeからダウンロード可能となる予定である。[2]

アプリ版『ポケドボ』はコンピュータとプレイする形式としているが、自分のまちを守ることを主眼に置く基本理念は不変である。スマートフォン等を使うことの最大の特徴として、災害発生時のエフェクト（CGによる災害イメージの可視化）に工夫が可能となり、カードゲームには無い臨場感を得られる点が挙げられる。

6. 他の土木系カードゲームとのコラボレーション

土木学会誌編集委員会が製作した「土木偉人かるた」とのコラボレーションを2019年1月20日に開催の「プレイフルストリート2019 in winter」において実施した。「土木偉人かるた」も楽しく遊びながら土木を学べる点において『ポケドボ』カードゲームと同じ目的であるため、今後もコラボイベント等をとおして協調的に認知を広めていきたいと考えている。

7. 今後の展開

今後も上記で紹介した4点を基軸として多角的展開を進める予定である。若手パワーアップ小委員会は30歳代前後の若手を中心として多方面で活動しているが、本業の傍ら活動しているため、機動力には限界がある。このような取り組みに興味を持った若手技術者がいれば是非門を叩いてほしい。

謝辞

『ポケドボ』カードゲームの多角的展開にあたって、土木学会事務局および企画委員会の皆様には有益なご意見、ご助言を戴くとともに、多面的に活動をサポートしてくださいました。ここに感謝の意を表します。

参考文献

- [1] 『ポケドボ』カードゲームのご案内 土木学会 HP (<http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/111>)
 [2] プレイフルストリート紹介 HP (<http://www.plus-arts.net/?p=6687>)



図2 新潟県版ご当地『ポケドボ』カードゲームの製作イメージ



図3 アプリ版『ポケドボ』



図4 「土木偉人かるた」とのコラボイベントの様子